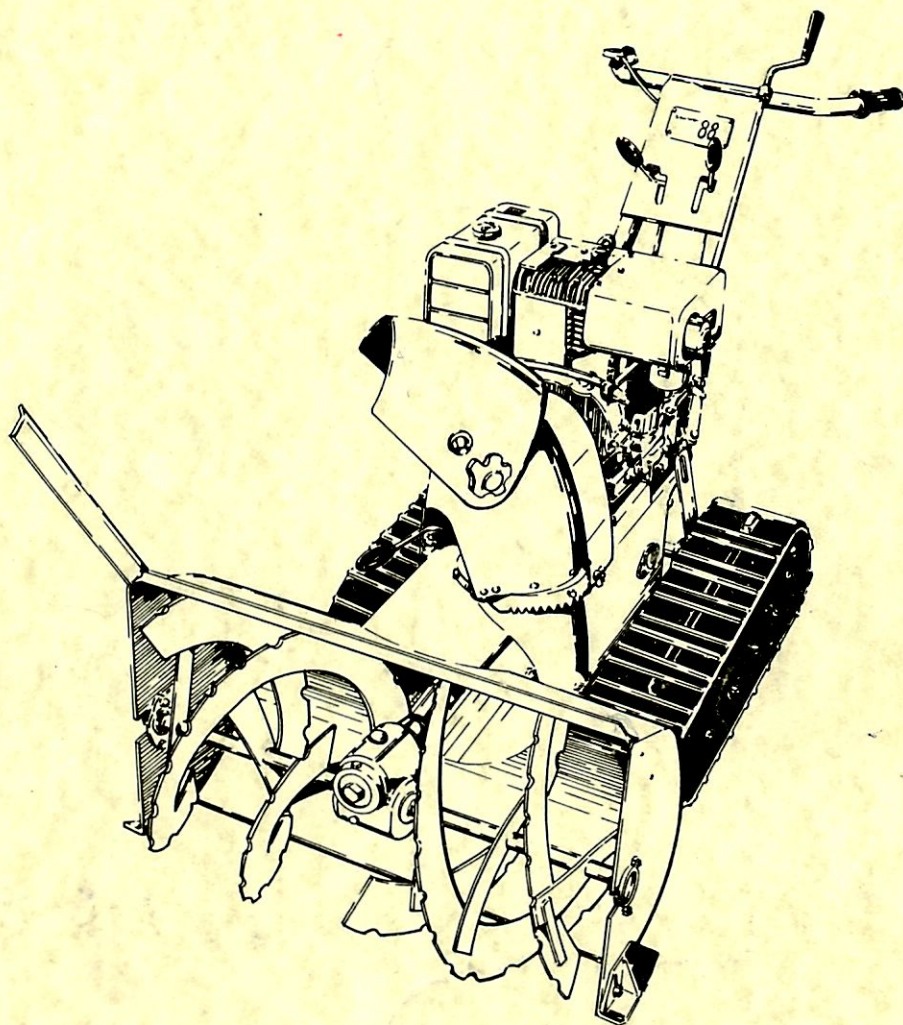


74年迄

SNOW-THROWER 88

取扱説明書

(附 部 品 表)



ヤナセ

SNOW-THROWER-88

小型クローラ型除雪機スノースローワ88を購入頂きまして有難う御座居ます。御使用前にこの取扱説明書を熟読され、本機の性能を充分に発揮し御愛用下さいませ願ひ致します。

一般保安事項

1. 正しい操作を覚えてから本機を運転して下さい。
2. 回転部分には運転中に触れないで下さい。
3. 通気の悪いガレージ等で運転するとエンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでいますから人体に有害です。
4. エンジン始動の場合、安全を確認する習慣を作りましょう。
5. 作業終了後は本機の各部に附着した雪を完全に除去し、保管して、次回作業時の凍結した冰雪による事故を防止しましょう。
6. 作業が終わったら燃料バルブを忘れずにしめて下さい。
7. 除雪の為に環境整理
 - 積雪前にゴミ、木片、石礫等の障害物を取り除いて下さい。
 - 不整地はできるだけ平坦に均して置いて下さい。
 - 雪のなかに石礫、冰雪等が混入していますと相当に遠くまで早い速度で飛びますから投雪方向に人がいない事、窓、ガラス戸等の危険物がないか確認のうえ作業を行って下さい。

SNOW-THROWER-88で無理な除雪

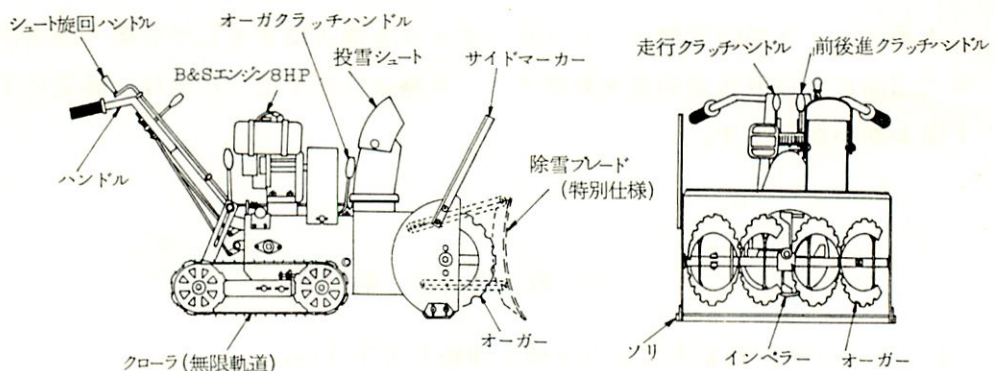
本機はブロー型除雪機で、踏固められた路面、屋根から落ちた氷まじりの雪、越年した春雪の除雪は無理です。

この様な除雪は大型カッター型除雪機の仕事と、お考え下さい。

農業用 SNOW-THROWER-88

玉ネギの苗畑、蔬菜の早期栽培等に二段切又は三段切の除雪をする場合には、作業速度がおそく、オーガー部が硬雪用を装着した農業用を御利用下さい。

各部の名称



第1図

本機の注油及び注意事項

◎ 毎日のチェックが必要な注意事項

- ボルト、ナット類が弛んでいると本機の寿命を著しく短くし、又本機損傷の原因となります。グリッパー取付ボルトは2〜3時間使用で増し締めが必要です。
その他ボルト、ナット類が弛みがないかチェックして下さい。
- 始動前にはプロア部が凍結していないか確認し、凍結している場合には氷雪を取除いて下さい。
- プロアボス並にオーガー軸に、針金又は荷造り用のヒモ等が巻付いている場合オイルシール等を損傷しますので、必ずチェックして下さい。

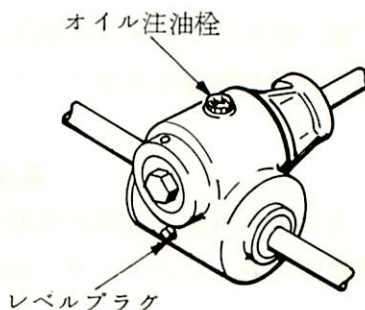
◎ 注 油

1. グリース注油

クローラ後部軸のスプロケットホイール（左、右）のグリースニップルに10時間に一度自動車シャシー用グリースを注入して下さい。

2. オイル注油

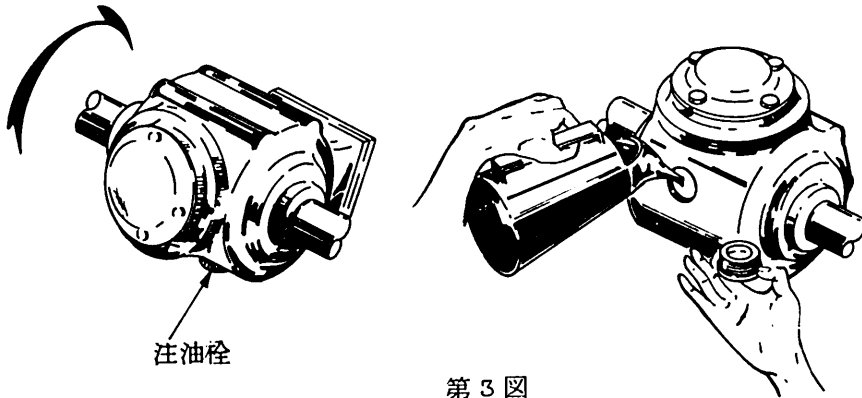
- オーガギヤボックスにはギヤオイル SAE#80を第2図レベルプラグより流れ出すまで入れて下さい。50時間使用でオイルの交換をして下さい。



第2図

○ ベベルボックスの注油

50時間でギヤーオイル SAE#80 を 250cc注油し注油栓を完全に締めること。



第3図

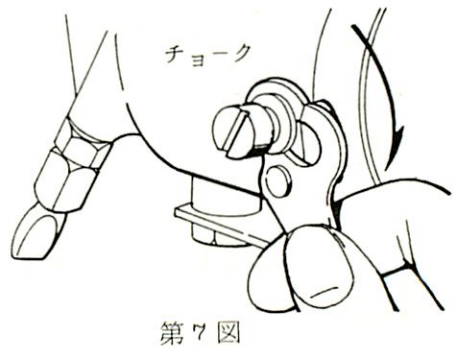
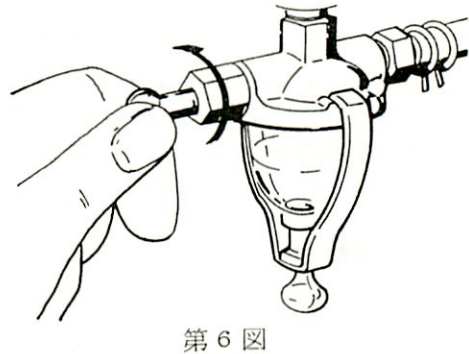
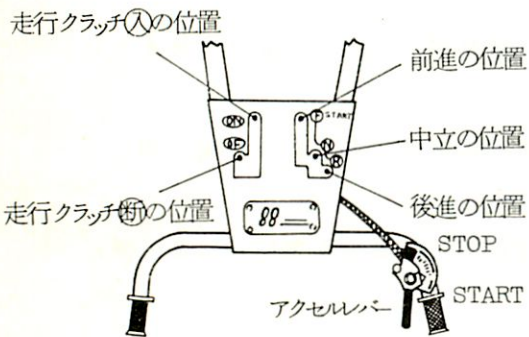
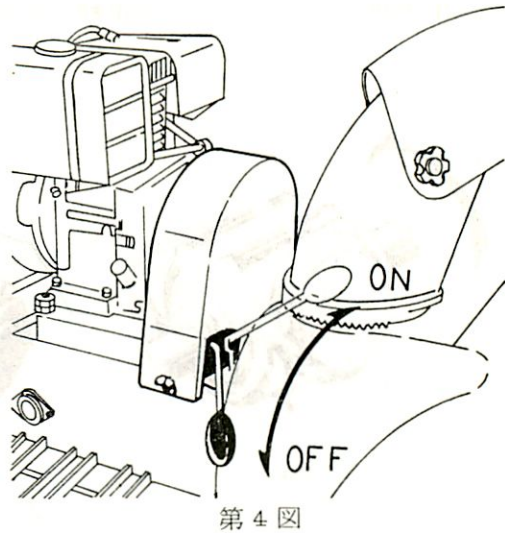
- アクセルワイヤー、スロースタート用ワイヤーにはオイル又はグリースを塗附して、ワイヤーケースに水分が入って凍結する事を防ぎます。
- 動力伝導のローラチェーンにはマシン油 S A E # 3 0 を 1 0 時間毎に注油して下さい。
- エルボ噛合部、各ハンドル支点部分等、滑動部にはマシン油 S A E # 3 0 を 1 日に一度注油して下さい。
- ケースに入ったボールベアリング類、走行部ギヤーボックスは無注油で 2 年使用し、3年目に工場にてチェックして下さい。
- エンジンについてはエンジン取扱説明書に準じ、オイルを切らさない様にして下さい。

エンジンの始動準備

1. オイルキャップを外し、S A E # 1 0 W オイルを注入口からあふれるまで入れて下さい。
2. 燃料タンクに必ずレギュラーガソリンを入れて下さい。

エンジンの始動と停止

1. プロアークラッチハンドルをOFFに下げる。(第4図)
2. アクセルレバーを第5図の位置とする。
 (スロー調整オート装置があるのでSTARTにしないこと)
3. 走行クラッチハンドルをOFFにする。(第5図)
4. 前後進ハンドルをⒻ STARTの位置にする。(第5図)
5. 燃料バルブを開ける。(第6図)
6. チョークレバーを完全に下げる。(第7図)



7. エンジンが冷えきっている場合は、スタートロープを引いてクランク軸を回転させる。
8. スタートロープを圧縮まで引き、この位置より一層強く引いて下さい。
9. エンジンが始動したらチョークレバーを $\frac{1}{4}$ ぐらい戻し、エンジンが暖まるにつれてチョークレバーを元の位置に戻す。

10. エンジンの停止はアクセルレバーを第5図STOPの位置にすることにより行えます。
11. エンジンが完全に停止してからアクセルレバーを第5図STARTの位置にします。(アクセルレバー関係部品の凍結による始動困難を解消します。)
(エンジンの詳細は別冊エンジン取扱説明書を参照のこと。)

除雪機の運転取扱い

操作を要する箇所は次の7箇所です。

1. アクセルレバー …… エンジンの回転速度の調整
(作業時は3,000~3,400回転/毎分で使用)
2. 走行クラッチレバー …… 作業時はONの位置に、作業しない時は必ずOFFにしてください。
3. 前後進ハンドル …… F … 前進 N … 中立 R … 後進
平常の除雪作業はこのハンドル操作で行えます。
4. 変速レバー …… L … 低速 750m/時 … 一般除雪作業
N … 中立
H … 高速 1,500m/時 … 運搬時及び軽い雪



第8図

5. オーガクラッチハンドル … オーガを駆動する場合ONの位置にします。
6. エルボ回転レバー …… 除雪の方向を左右又は前方に変える場合に使用します。
7. フリーハンドル …… 除雪路面が凹凸のある場合はハンドルを後下方に倒すとクローラ部と本機がフリーの状態となりオーガ部を自由に上下させることができます。

運 転 要 領

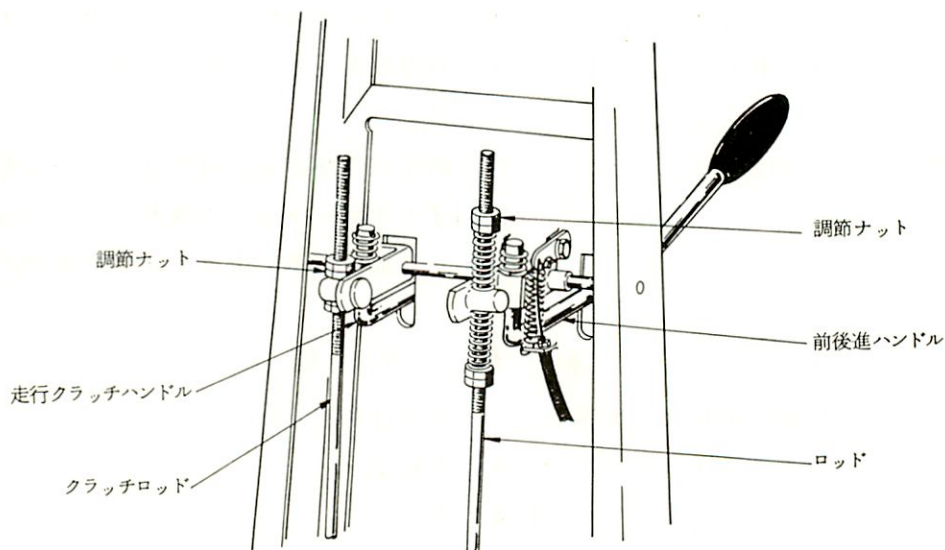
- 雪の性質、量により変速レバーをL又はHに入れる。
- オーガクラッチハンドルをONに入れる。
- 走行クラッチハンドルをONに入れる。
- ◎ アクセルレバーを操作しエンジン回転を上げる。(約3,000~3,400回転/分)
- ◎ 前後進ハンドル …… F … 前進、N … 停止、R … 後進
- ◎ エルボ回転レバーで除雪方向を選択します。
- フリーハンドル …… 不整地の場合には一般に倒します。

重い雪、積雪高の大きい場合にはオーガ巾をいっぱいを使用しないで作業巾を少くします。（最初の1列の除雪は前進、停止、後進の繰返して作業を行います。）又積雪高が40 cm 以上の場合サイドマーカ（切断刃）をオーガケースの右又は左側に固定して下さい。

本機には前後進ハンドルにエンジンスローダウン装置を連動させてあります。前進又は後進から前後進ハンドルを中立(N)にしますとエンジンの回転数がさがりエンジンはアイドリング回転となります。

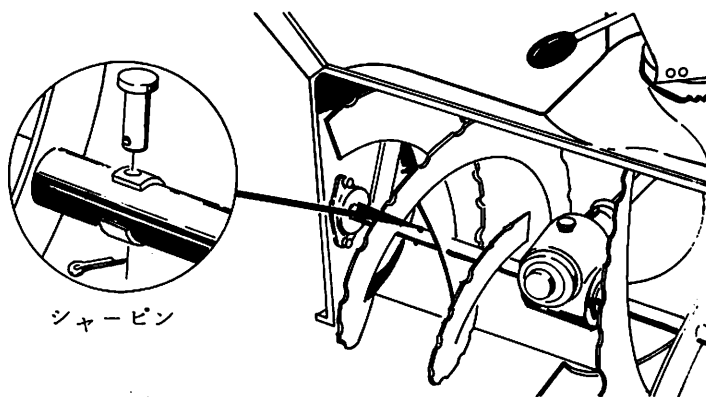
本機の調整

1. 走行クラッチ …… 走行クラッチハンドルONでテンションクラッチが入る。OFFの位置でテンションクラッチが離れます。テンションクラッチの動きを見ながら第9図の調整ナットを弛めクラッチロッドの有効長を調整します。
2. 前後進ハンドル …… N … 停止 F … 前進 R … 後進
（第9図参照） 第9図の調整ナットを弛めロッドの有効長を調整します。
N … 停止の位置を合わせます。



第9図

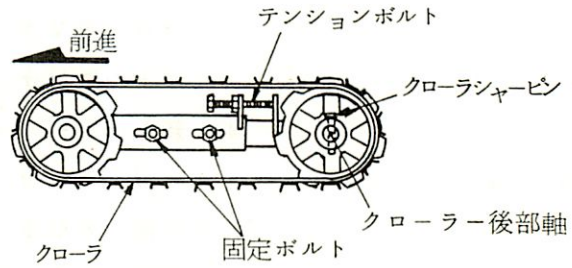
3. Vベルトの張り…………… Vベルトの張りを全体に強めたい場合にはエンジンと本機取付台の間に厚みの等しい座金（シム）を入れて調整します。
4. Vベルトの交換…………… Vベルトが著しく破損摩耗したり、伸びた場合には次の順序で交換して下さい。
- ① Vベルトカバーを外す。
 - ② テンションプーリをハンドル操作で弛める。
 - ③ プロア軸Vプーリと走行軸Vプーリとの間からVベルトを取外す。
 - ④ 新しいVベルトは上記の逆の順序で取付ける。
5. シャーピン…………… オーガとオーガケースの間に異物が詰ったりしてオーガに過大な荷重がかかるとシャーピンが切断し、本機の破損を防止します。
- シャーピンはオーガ（右）、（左）に各1個ついています。切断した場合にはスペアのシャーピン（10本附属）と交換して下さい。（第10図）



シャーピンはヒューズの役目を果しています。シャーピンにはボルト等を代用しますと機械破損の原因となりますから純正品以外は絶対つかわないで下さい。

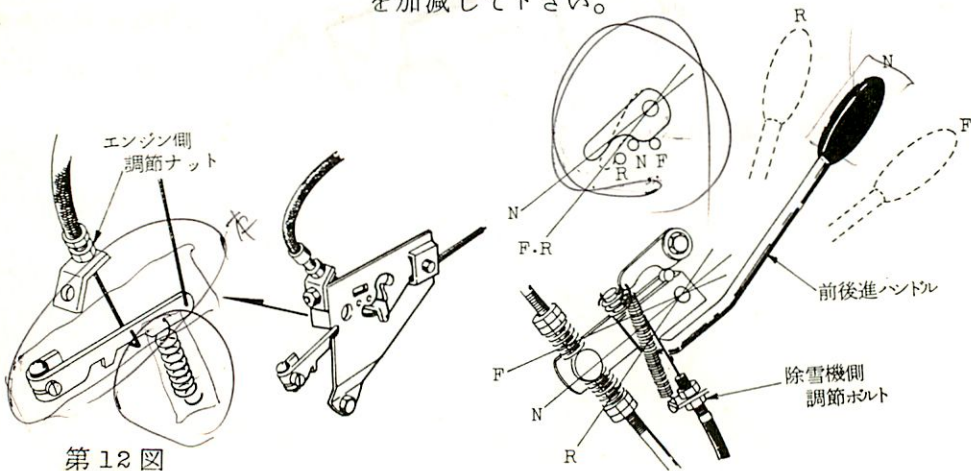
第10図

8. クローラの張り …… クローラは第11図、固定ボルトを弛め、テンションボルトのナットを弛め、クローラ後部軸を後に力いっぱい（約30 kg）引いた状態でテンションボルトで張ります。クローラの張りを左、右、同様にして、弛めたナットをしっかりと固定して下さい。チェーンの張りと同じで張りすぎると機械がおもくなります。



第11図

9. エンジンスローダウン… F（前進）→N（中立）→R（後進）の前後進ハンドルの操作に連動してN（中立）の位置でエンジン回転数が自動的に低下する装置で第12図ハンドルN（中立）でエンジン回転数がスローとなり、F（前進）及びR（後進）ではアクセルレバーの動きでエンジンの回転数が自由に増減出来る様にスロー調整ワイヤの調整ナットでワイヤの外側ケースの長さを加減して下さい。



第12図

本 機 の 保 管

1. 長期保管

- 注油の項で説明したすべての注油箇所へ注油し、滑動部及びさびの生じやすい軸、クローラー等に防錆のグリースを塗布して下さい。
- エンジンについては燃料タンクのガソリンを抜き取り、エンジンを始動してガソリンが無くなるまで回転させキャブレータを空にして下さい。
- プロアクラッチハンドルはONの位置とし、長期保存によるスプリングの疲労をなくします。

2. 日常の保管

- 屋外に置く場合には必ず覆いを完全にかけて下さい。
(エンジンの始動が容易です)

本 機 の 保 証

製造、材質上の欠陥により発生したるものに限って保証されます。

指定外部品を使用した場合は保証されません。

改造、仕様変更を許可なく行った場合は保証されません。

点検整備手入れの不備に起因する故障は保証されません。

性能以上の苛酷な条件で稼働させた為に発生した故障は保証されません。

取扱説明書に記載されている注意事項を確実に守って頂いた場合に限り降雪期間1シーズン本機を保証致します。

部 品 注 文 に つ い て

部品注文については、次の事項を指定して下さい。

例

機 種	スノースローワ 88
製造番号	3001237
部品番号	410-5
部 品 名	Vブーリ
個 数	1ヶ

販売元 株式会社 ヤナセ 商事事業部

〒105 東京都港区芝浦1丁目6番38号
電話 (03) 452-4311 大代表

製造元 石狩造機株式会社

〒068-01 北海道空知郡栗沢町由良737-7
電話 (012645) 2815・2816 番